

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立鳥羽高等学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	<p>全日制普通科</p> <p>スポーツ総合専攻1年（男25名、女15名 合計40名） 2年（男27名、女13名 合計40名） 3年（男28名、女13名 合計41名）</p> <p>文科スポーツコース 1年（男25名、女15名 合計40名） 2年（男16名、女15名 合計31名） 3年（男19名、女19名 合計38名）</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ スポーツI・II・III ） ② 行事名（ オリンピック・パラリンピック教育講演会 ） ③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ） ② その他（ ）</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>オリンピック・パラリンピック教育を行う事で、2020年東京オリンピック・パラリンピックに様々な形で積極的に参画し、スポーツを通してグローバルな活躍ができる人材の育成を目指す。</p>
5 取組内容	<p>2012年ロンドンオリンピックで、フェンシング男子フルーレ団体で銀メダルを獲得された千田健太氏（ハイパフォーマンススポーツセンター所属）を講師に招き、『競技人生を通じて学んだこと』をテーマに、御自身の経験を踏まえ、目標の持ち方、競技に対する姿勢、出会いを大切にすることや、夢や目標をもつこと、感謝することの重要性などについて講演をしていただいた。</p>
6 主な成果	<p>生徒の感想などから</p> <p>○自分の弱みは、自分以外の目線で見ることによって強みに変えることができると聞いて、勇気が湧いた。</p> <p>○出会いを大切に、お互いをリスペクトすることで自分自身を高めることができた話を聞き、実践していこうと思った。</p> <p>○当たり前だが、努力の積み重ねをどれだけ継続できるかが成功への近道であることを再認識できた。</p> <p>○夢や目標を持つことの重要性和、それを実現するためには、あきらめず粘り強く求め続ける心の強さが必要であることがわかった。</p> <p>○時には客観的に自分を見ることによって、ヒントが見つかることを知った。</p>

	<p>○練習の中だけでなく、日常生活の中でもできることを決めたことをやり続けることが、競技の成功につながることを教えていただいた。</p> <p>○銀メダルの重みが、様々な人の想いの詰まったものであることを実際に触れて感じる事ができた。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	○事前学習をしたり、質疑の内容を事前に考えさせたりしたことで主体的に受講できた。
8主な課題等	<p>○継続的に取り組む事で、生徒達の意識改革につながる。</p> <p>○講演をするに当たって講師費用が安価すぎる。素晴らしい講演をお願いするにはそれなりの代価が必要なので、体育系設置校合同で行うなど工夫が必要。</p> <p>○どんな競技でも良いが、実際にトッププレイヤーの試合の観戦や練習の見学ができる機会が欲しい。</p> <p>○人間力を高める学習に繋がる為に、競技者以外の方々から学ぶ事も重要と考える。</p>
9来年度以降の実施予定	○来年度も講演を実施しようと考えている。卒業生で活躍している大相撲の宇良和輝氏、アメリカ大リーグダイヤモンドボックス所属の平野佳寿氏、シンクロナイズドスイミング女子日本代表の福村寿華氏などを講師で調整しようと考えている。

